



令和7年1月号

# 永小だより

ユネスコスクール加盟校 学校ホームページ <http://schit.net/tama/esnagayama/>

令和7年1月8日  
多摩市立永山小学校  
校長 向井 美紀

## 地域に伝わる行事

校長 向井 美紀

明けましておめでとうございます。

今年は、巳年(みどし)です。巳年はどんな年なのかを調べてみると、「大きな変化と転換が起こる年」「復活と再生の年」「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」「これまで努力してきたことが実を結び始める年」と、たくさん希望に満ちた言葉が書いてありました。

確かに、蛇は古い皮を脱ぎ捨てて、新しい皮を纏い、成長していきます。がんばったことが力となって、次々と更新され、いろいろなことができるようになっていくことは、まさに子供たちそのものだなと思いました。

「かけ算九九ができるようになったよ。」「水泳で3つも検定クリアしたよ。」「今日も友達と仲良くできたよ。」など、校内を巡回している私にたくさんの子供たちが声をかけてくれます。それぞれがよい表情で自信に満ち溢れています。今年もそのような子供たちの成長を楽しみにしていきたいです。

さて、小正月行事の一つに「どんど焼き」があります。どんど焼きは各地にあり、どんど焼き、鬼火焼きなどと呼ばれることもあります。また、一年間見守ってくれた年神様を見送る祭りでもあり、書き初めやお飾りなどを燃やし、その火で焼いたお餅やお団子を食べると、一年中健康でいられると言われています。



多摩地域では、養蚕が盛んだったからか、繭玉(まゆだま)に見立てたお団子を長い竹串に刺して、焼いて食べるということが多いようです。多摩市には、どんど焼きにまつわる「せえの神とヨウカゾウ」(出所:多摩市の民俗関戸・一の宮伝説“ヨウカゾウ”)という民話があります。1月に「せいの神まつり」でどんど焼きのような祭りを行い、疫病神のヨウカゾウを追い返してしまうという話です。3年生が社会で学習する「わたしたちの多摩市」という副読本にも出てきます。

私たちの永山地区では、1月12日(日)に青少協永山地区委員会主催で、「どんど焼き」が行われます。保護者・地域の方々はどなたでも参加できます。親子で、ご近所同士で、お一人でも、古くから伝わる行事に子供たちと一緒に参加し、今年の無病息災を願いませんか。

### 【地域連携】

#### どんど焼きのお知らせ

○日時:令和7年1月12日(日)11:30集合 点火12:00

○場所:本校校庭

#### 訃報

青少協地区永山委員会副会長 菊池富美男様が11月25日に82歳でご逝去されました。放課後子ども教室の立ち上げにご尽力され、長年、永山小児童の育成に多くの力添えをいただきました。謹んで哀悼の意を表します。



## 1月の生活目標「ひびかせよう　あいさつ」 自分から進んで、気持ちの良いあいさつをしよう。

### 道徳地区公開講座

今年度の道徳地区公開講座は、学校ホームページで指導案を公開し、3時間目までに時間を指定した授業参観とさせていただきます。そして、4時間目の道徳地区公開講座は講師をお招きし、保護者を対象とした講演会を実施いたします。

講演会を参観する場合は、4時間目に体育館に移動して参加してください。4時間目終了後に児童と一緒に下校してくださると幸いです。ご協力よろしくお願ひします。

今後の感染拡大に伴う学級閉鎖等があり、参観中止の際はLINE配信ですぐにお知らせいたしますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

担当 横山・小川・鬼頭

### 多摩市公立小・中学校連合図画工作・美術展

会期：令和7年1月25日（土）～1月30日（木）

時間：25日～29日（9：15～16：15）、30日（9：15～11：30）

会場：パルテノン多摩

市内全校・全学年の代表児童・生徒の作品が一堂に会します。子供たちの創造力あふれる作品と共に、図工・美術の授業における多様な取り組みをご覧いただけます。ぜひ足をお運びください。

担当 高木

### ◆第32回 MOA 美術館多摩児童作品展入賞者

市長賞・MOA 美術館奨励賞 4年 バルア ジュニ  
銅賞 1年 薄木 花奈

### ◆第7回小学生【税の書道展】入選者

佳作 6年 早津 結星  
努力賞 6年 氷見 真太郎  
努力賞 6年 八島 優花  
努力賞 6年 吉川 智清

### ◆令和6年度多摩消防署主催写生会

消防総監賞 2年 名取 美月  
消防総監賞 2年 山本 真理江  
消防署長賞 2年 遠藤 奏太  
消防署長賞 2年 澤路 六花

### ◆ソフトテニス

全国小学生大会 東京都予選会  
優勝 男子4年生以下の部 4年 中村 優芯  
おめでとうございます。

### 挨拶について

挨拶名人を目指して、児童会の代表委員では、その取り組みを考えています。

よき社会人になる土台としてさわやかな挨拶ができるることは、社会人として欠かせないことです。

小学生として、家でのリラックスしたしゃべり方以外に、「です」「ます」を使用した挨拶かわせるといいですね。

副校長 木村伸之

